



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の
女性の **ココロ**

貧血・萎黄と月経

過多月経になるって...
月経時に出血が止まらない場合(過多月経)は貧血になりがちです。月経は卵巣から卵子が出る排卵日の約2週間後に出血が起こるメカニズムですが、この排卵が不安定になるとダラダラと出血

前回は「鉄欠乏性貧血」についてご説明し、特に貧血が重篤化すると、顔色が蒼白を通り越して黄色になる(これを「萎黄」といいます)というお話をしました。萎黄になる原因の多くは女性特有の月経が関係していると考えられています。

過多月経の場合、良性腫瘍である子宮筋腫ができていることも考えられます。筋腫は発生場所ので分類されますが、月経時の出血場所である子宮内腔に突出する「粘膜下筋腫」の場合、腫瘍が小さくても過多月経につながる場合があります。

筋腫がある場合も
起こる過多月経になりがちです。こうした過多月経は女性ホルモンが乱れやすい思春期と更年期に多くみられます。特に思春期は成長期と相まって鉄分が不足しやすくなり、貧血になります。

出産・授乳も原因に
また出産後は出産前に比べ子宮がやや大きくなり、月経の出血量が多少増えることがあります。さらに、授乳すると鉄分の消費は増えます。ただでさえ母乳育児で疲れやすいところに月経が再



子宮内膜症の一種で、子宮が大きくなる「子宮腺筋症」でも過多月経になりやすくなります。

気軽に病院へ!
たびたび貧血に見舞われる方はおひとりで悩むことなく、気軽に産婦人科の門を叩いてみてください。

重篤化しやすい更年期
更年期では水道の蛇口をひねったような出血になりやすく、特に子宮筋腫や子宮腺筋症がある場合、「萎黄」になるほど重症貧血になって初めて受診に来られる方もいらっしゃいます。

開するとホルモンバランスが崩れ、体調も辛いものになります。